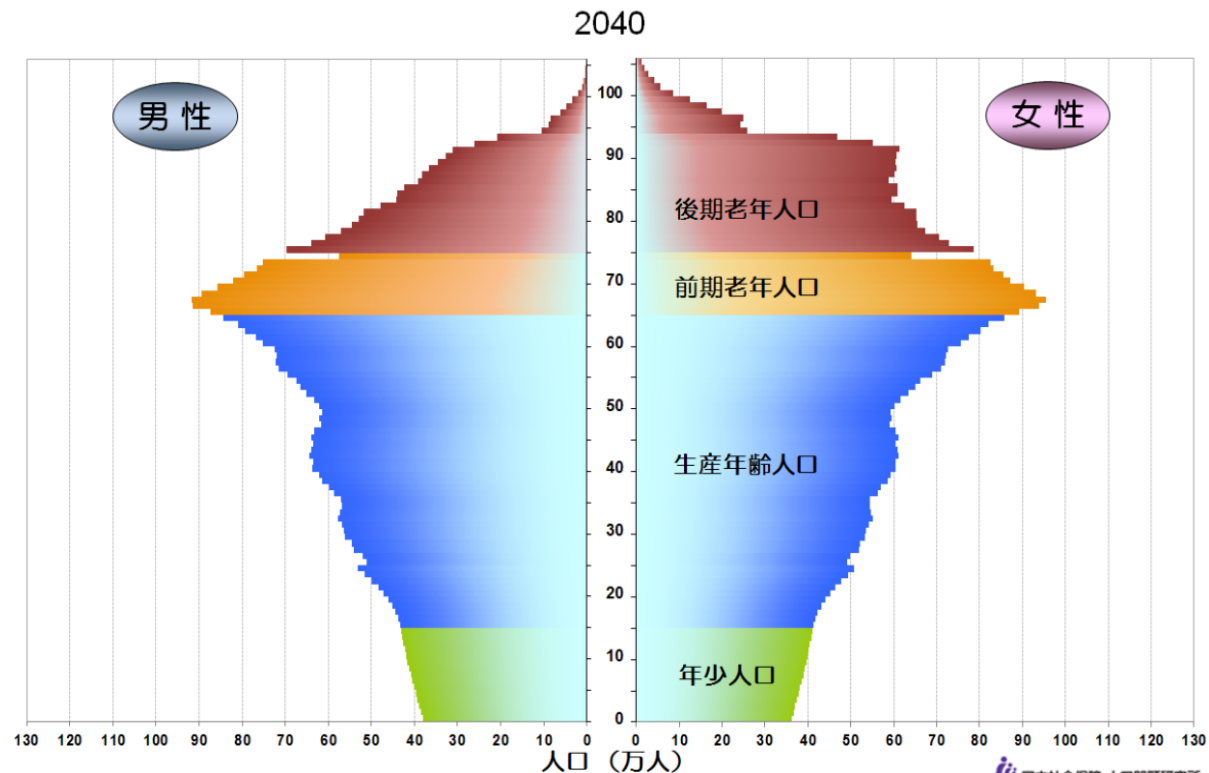


不安に寄り添う政治のあり方勉強会

• 2020年2月14日 橘 玲

1 高齢者が多すぎる



資料：1965～2015年：国勢調査、2020年以降：「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（出生中位(死亡中位)推計）。

2 女性の地位が低すぎる

- ジェンダーギャップ指数は世界最底辺の121位で、順位は上がるどころから下がっている。
- 子どものいる大卒女性より高卒男性の方が出世する。
- シングルマザーの（相対的）貧困率が先進国で際立って高い。

3 世界でもっとも仕事が嫌いで、会社を憎んでいるのは日本のサラリーマン

- 平均労働時間は短くなっているが、正社員の長時間労働は増えている。
- それにもかかわらず、労働生産性は先進国で最低で、アメリカの6割程度しかない。
- 過去20年間で賃金が増えないばかりか、逆に減っている

エンゲージメント指数

- エンゲージメントレベルが非常に高い社員は8% (22%)、非常に低い社員は34% (16%) / エーオンヒューリット (カッコ内は世界平均)。
- エンゲージメントレベルが高い社員は7% (13%/アメリカは30%) /ギャラップ
- エンゲージメントレベルが高い社員は21% (40%)、非常に低い社員は45% (24%) /タワーズワトソン
- 世界22カ国のエンゲージメントレベルでは、トップはインドの評価点25%でメキシコが2位で評価点19%、アメリカは中間で評価点1%、日本は最下位で評価点はマイナス23% /マーサー
- グローバル社員のエンゲージメントで日本の得点は4・5で調査国中最低、世界平均は6・2、アメリカは6・5 /エフェクトリーインターナショナル
- 日本のエンゲージメントレベルは62%、世界平均は66%、アメリカは73%で、好業績企業の平均は73%。ヘイグループ
- 24カ国の社員調査で、雇用状況に満足している日本の社員は60%にとどまり、調査対象国中最低。トップは90%のノルウェー、インドが2位、マレーシアが3位。 /エクスペディアジャパン
- 5カ国3556人の金融専門家を対象に行なった調査では、仕事に対する満足度で日本は47%で最低。 /ロバートハーフ
- O E C D (経済開発協力機構) によると、日本で自分の仕事に (ある程度) 満足している社員の割合は72.4%。O E C D平均は80.9%、アメリカは82.2%。この調査に関してはフランスと韓国が日本より低い値を記録

日本の景色を変える

- 年金は賦課方式から積立方式に
- クオータ制を導入して、国家・地方議会の女性議員を半数にする
- 定年制を廃止する代わりに金銭解雇のルールを導入する

日本は近代国家のふりをした身分制社会

- 「日系日本人、男、中高年、（一流）大学卒、正社員」が支配する社会
- 正規／非正規、親会社／子会社、本社採用／現地採用、総合職／一般職など、あらゆるところで「身分」が問われる
- 市民社会をイエ単位で管理している（戸籍制度）
- 夫婦別姓、同性婚、共同親権、無戸籍、第3号被保険者

- イエから個人へ

世界の大きな潮流

指数関数的なテクノロジーの発達を背景にした
知識社会化・リベラル化・グローバル化

すべてのひとが自己実現できる（自分らしく生きられる）社会

国民を幸福にする政治ではなく、幸福の インフラをつくる政治へ

- 国籍、出自、性別、性的志向…で「自分らしく生きる」ことを妨げられないような社会
- 景気悪化で解雇されても、職業訓練を受けたり資格を得て再就職できる
- 離婚してシングルマザーになってもハンディキャップを負わない
- 学びたい者は大学に行けるが、大学に行かない納税者の負担にはしない
- どのような生き方をするかは個人が決める